



県のブランディングになる」と確信しました。

GW頃に開花し、55日間前後で収穫しますが、受粉のタイミングや、雨で実が傷まないように管理にはとても気を遣います。ジュノハートは、7~8割が3Lサイズですが、うまく実すぐりをすれば4Lの比率を高めることができます。栽培技術を磨き、高品質生産につなげることで、「稼げる農業」をめざしたいと思っています。地域の生産者たちもジュノハートに大きな期待を寄せており、結束



南部町おうとう「ジュノハート」ブランド化推進委員会会長
やま もと また いち
山本 又一さん
「山本チェリーフーム」園主。「南部町名川観光さくらんぼ園振興会」会長、「達者村農業観光振興会」副会長を務め、地域の農業・観光振興に尽力している。



力タチも味も品質も世界を感動させる青森県产品に

数年前、試験栽培中の畑で初めてジュノハートを見た時は、感動しました。これまで見たこともない大玉で美しいルビー色をしたさくらんぼが、鈴なりに実っている。まるで別世界、夢のような光景でした。食べてみると、甘みが強く若い世代の好みにもぴったり。国内産では最大のサイズなのでプレミアムなイメージが強く、「これは、世界が驚く青森



【ジュノハートロゴマーク】
おうとう「ジュノハート」ブランド化推進協議会に登録した生産者により出荷されるジュノハートにのみ、本ロゴマークが使用されます。

さくらんぼの新品種「ジュノハート」 6月待望のデビュー!



【青森ハートビートロゴマーク】
ジュノハートの中でも、4Lサイズ(横径31mm以上)で厳しい品質検査に合格したものだけを、「青森ハートビート」としてブランド化。

青森ブランド米 全国・世界へと市場拡大



個性豊かで首都圏でも評価されている青森米
「青天の霹靂」は、朝からお茶碗一杯をさらりと食べられるお米。お米が味を主張しそうなため、だしやお醤油などを使った日本古来のおいしく、お弁当に最適。現代の消費者ニーズに合った市場で勝ち残っていけるお米ばかりですから。

米だと期待しています。

かずと相性が良い。冷めてもおいしく、お弁当に最適。現代の消費者ニーズに合った市場で勝ち残っていけるお米ばかりです。地元飲食店でも積極的に地元米を使うことは大事です。県民の皆さんのが胸を張って自慢できるお米ばかりですから。

株式会社スズノブ 代表取締役
西島 豊造さん
五ツ星お米マイスター。東京都内で米穀専門店「スズノブ」を経営するかたわら、米に関する幅広い知識を活かし、新聞、テレビ、雑誌などで活躍中。

